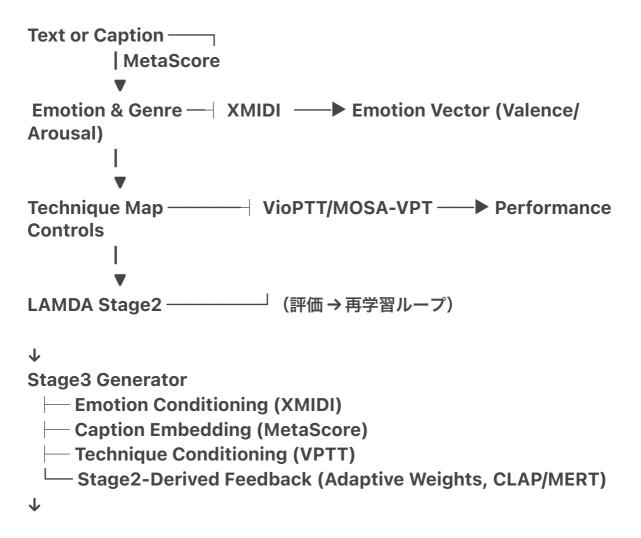
→ Stage3 ロードマップ (XMIDI・VioPTT/MOSA-VPT・MetaScore 統合)

1. フェーズ概要

項目	説明
フェーズ名	Stage3: Context-Aware Composition Pipeline
目的	Stage2で得た「評価知能」を活用し、音楽生成 (MIDI出力) ヘフィードバックする
技術中核	XMIDI (感情・ジャンル教師) + VioPTT/MOSA-VPT (奏法モデル) + MetaScore (テキストキャプション生成)
出力形式	Multi-Track MIDI (Emotion/Genre/ Technique/Caption タグ付き) + Loop Summary + Auto Score
成功KPI	再現性↑(同属性で近似曲生成)/創造 性維持/スコアp50≥75, p90≥88

2. 構造図 (論理パイプライン)



MIDI + Captions + Metrics

3. 実装ステップ

フェーズ 実施内容		成果物	
Step 1 : XMIDI 感情・ ジャンル教師導入	labels_schema.yaml を XMIDI 語彙に統一。 assign_labels.py で valence/arousal, genre を自動推定。	loop_summary.csv に label.emotion, label.genre 列を追加。	
Step 2:MetaScore キャプション生成	scripts/ generate_music_capti ons.py を作成。Stage2 のメトリクス+歌詞/楽 曲情報を LLM に入力。	label.caption 列を生成 し、Emotion/Genre と 連動。	
Step 3:VioPTT/ MOSA-VPT 奏法制御導 入	configs/labels/ technique_map.yaml で奏法ラベルを定義。 batch_articulation_ren derer.py で奏法合成。	合成データセット (奏法 別 MIDI) +奏法マップ (Key/CC 対応表)。	
Step 4:Stage3 Generator 開発	ml/ stage3_generator.py: XMIDI・MetaScore・ VPTT を条件トークンと して学習。	感情・テキスト・奏法条 件付きの自動作曲モデル。	
Step 5:LAMDA Feedback 統合	Stage2 のメトリクスを Stage3 学習に報酬とし て取り込み (RL or weighting)。	自動評価・改善ループ (自己学習的生成)。	

4. 出力・レポート

出力物	説明
stage3_summary.json	Stage3生成の統計 (Emotion, Caption, Technique 別性能)。
loop_summary_stage3.csv	生成結果のメタ情報(感情・ジャンル・奏法・スコア)。
music_captions.log	MetaScore 生成ログ (要約・情景文)。
emotion_distribution.json	感情ベクトルの分布ヒートマップ。
stage3_ab_report.md	A/B比較レポート(生成品質・評価スコア)。

5. 成功指標 (KPI)

	 軸	指標	目標値	
--	-------	----	-----	--

品質	Stage2再評価後のp50/ p90	≥75 / ≥88
文脈一致	一致 CLAP/MERT類似度 (text_audio_cos)	
感情再現率	Emotion分類精度 (XMIDI)	≥85%
奏法再現率	Technique ラベル一致率	≥80%
創造的多様性	曲間平均類似度	≤0.55
再現性	同条件再生成のスコア分 散	≤5%

6. 今後の展望

- MetaScore 2.0: 音楽構造を「物語の章」として説明できるキャプションを自動生成。
- **VPTT 拡張**: 他楽器 (Strings, Piano, Winds) への奏法転移学習。
- XMIDI Fine-Tune: 自作データで valence/arousal の再学習、より日本語感情 語彙へローカライズ。
- Stage4 Preview: 自動リライト(「感情→旋律→調整→再評価」の完全生成ループ)。

Stage3 ロードマップ では、拡張パック群 (CLAP/MERT・EMOPIA・MT3+ASAP・MuseCoco・LP-MusicCaps) を以下のように体系的に統合しています。

拡張パックとの整合(現ロードマップ内での位置づけ)

拡張パック	組み込み位置	目的・役割	ロードマップ参照
CLAP / MERT	Stage2→Stage3 全体	音声-テキスト対 応の基盤 (text_audio_co s・ audio_context)	Stage2 完結済 → Stage3 Feedback 項目に 継承
EMOPIA	Step1: XMIDI 感 情教師	Valence/Arousal の正規化軸として Emotion空間を補 強	XMIDI → Emotion Vector 出力部に統合
MT3 + ASAP/ nASAP	Stage2→VioPTT 間	転写・演奏表現モ デルとして Humanizer/ Performance学 習を補強	Step3: VioPTT 奏法制御導入後、 テンポゆらぎ補正 へ反映

MuseCoco	Stage3 Generator	キャプションを属 性トークン化 ([genre] [mood])し生成安 定性を高める	Step4:Stage3 Generator 条件入 力構造に追加予定
LP-MusicCaps	MetaScore 強化	LLM生成キャプションを近傍補完し て語彙カバレッジ を拡大	Step2: MetaScoreキャ プション生成の補 助学習

※ 拡張パックの流れと統合位置イメージ

Stage2 (CLAP/MERT) XMIDI + EMOPIA → Emotion Conditioning MetaScore + LP-MusicCaps → Caption Conditioning VioPTT + MT3/ASAP → Technique Conditioning MuseCoco Tokens → Text-Attribute Normalization

Stage3 Generator (All Integrated)

🚀 計画上の扱い

- CLAP/MERT はすでに実装済み (Stage2 完結) で、Stage3 では 「報酬フィードバ ック入力」として活用。
- **EMOPIA / XMIDI** は「感情・ジャンル教師フェーズ (Step1)」に統合。
- MT3 + ASAP/nASAP は「演奏表現・Rubato 学習」のデータパイプとして Stage2から接続。
- MuseCoco / LP-MusicCaps は「MetaScore 強化フェーズ (Step2-4)」に吸 収。

つまり拡張パックは、単なる "オプション" ではなく、

Stage3 ロードマップの中核構成要素 として組み込まれています。